

平成21年度離島対策事業協力評価報告書

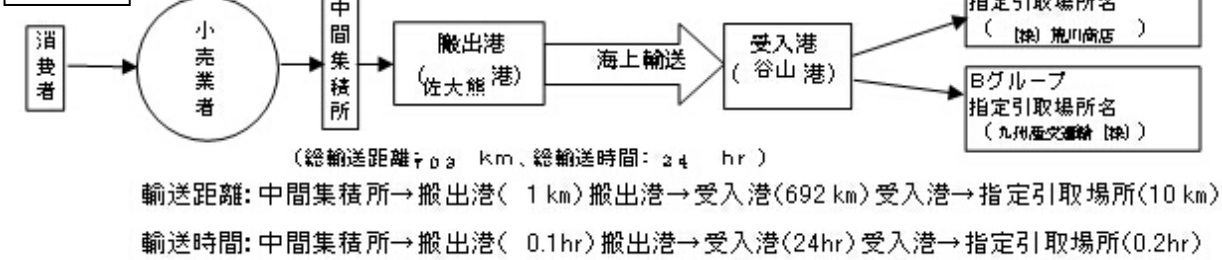
(平成22年度事業への継続: (有) 無)

平成22年7月26日
第三者委員会

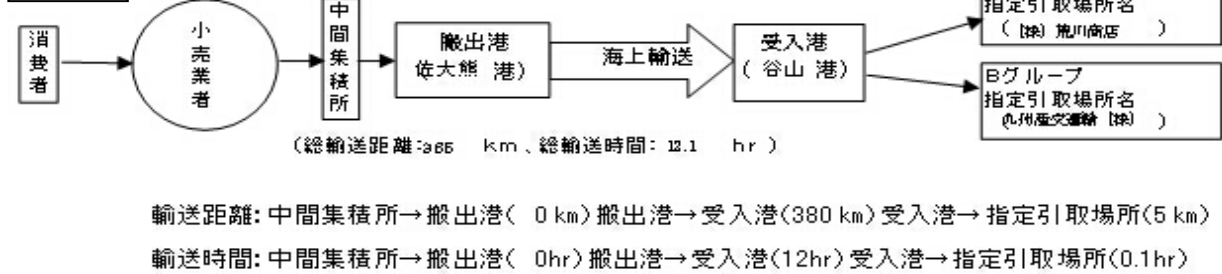
No.10	都道府県名: 鹿児島県	市町村名: 奄美市(カバーしている市町村は同市、龍郷町、大和村及び宇検村地域含む)及び瀬戸内町
協力の対象となる島名: 奄美大島	世帯数: 29,784世帯 ※1	人口: 70,462人 ※1
事業実施期間: 平成21年2月1日～平成22年1月31日	海上輸送を行う者: 奄美市又は瀬戸内町から補助を受けた第三者	
1回当たりの輸送平均台数: 58台	年間の輸送回数: 118回 ※2	
海上輸送の方法: 特定家庭用機器廃棄物を積載したトラック又はコンテナを船舶に積み込み輸送する。		

補助事業、協会集計方式

Aルート



Bルート

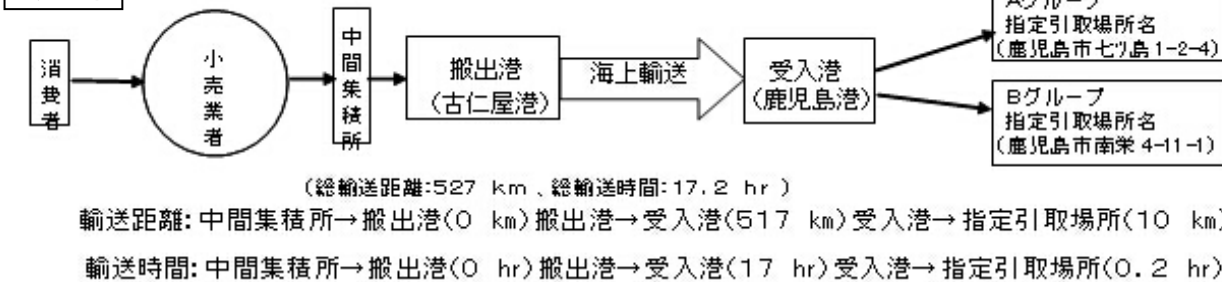


Cルート



補助事業、離島集計方式

Dルート



	エアコン	ブラウン管式テレビ/液晶式及びプラズマ式テレビ	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機	合計
事業実施期間中の輸送量(台)	1,068	2,985/25	1,357	1,459	6,894
助成金の額(円)	865,080	1,264,200	1,424,850	1,181,790	4,735,920

※1: 世帯数及び人口は、平成17年国勢調査、※2: A、B、C、Dルートの合計

I. 輸送の効率化(少頻度多量輸送)の評価

- Aルート: 輸送回数は年26回で1回当たり135台を輸送しており、少頻度多量輸送を満足していると認められる。
- Bルート: 輸送回数は年14回で1回当たり50台を輸送しており、少頻度多量輸送を満足していると認められる。
- Cルート: 輸送回数は年71回で1回当たり38台を輸送しており、少頻度多量輸送を満足していると認められる。
- Dルート: 輸送回数は年7回で1回当たり35台を輸送しているが、これは改善の余地があるものと認められる。

II. その他 市町村の責務の遂行状況の評価(推奨すべき点を含む)

1) 排出者の負担軽減に関する評価

- ① 実績報告書に記載されたところによれば、助成金額と同額分だけ住民の負担が軽減されたとのことである。
- ② 奄美大島からの排出量の大半が、本事業の対象になっているものと認められる。

2) その他

- ① 本委員会は、瀬戸内町の義務外品体制に不備があると認め、平成21年10月に協会をして同町に対し改善要請を行わしめた。同町より協会に対し平成21年11月に義務外品体制の整備等についての報告書の提出があった。事後、同問題は改善されていると認められる。
- ② 奄美市及び瀬戸内町の責務(I. 及びII. 1)に掲げるものを除く。)は適切に遂行されているものと認められる。